

令和元年度 保幼小連携地区ブロック活動報告書

- 1 地区ブロック名 富士見 地区ブロック
 今年度のテーマ ポイントとなる姿（ 道徳性・規範意識の芽生え ）
- 2 地区ブロックの組織（ブロック内学校・園・所名）
- ・原小学校 ・石井小学校 ・時沢小学校 ・白川小学校
 - ・認定こども園富士見幼稚園 ・認定こども園いしい幼稚園
 - ・認定こども園ポケット幼稚園 ・認定こども園ぼらりすこども園
 - ・富士見保育所

3 連携推進活動（実施した交流活動等）

日 時	場 所	内 容
6月 4日（火）	いしい幼稚園	お茶会に卒園児招待
6月27日（木）	時沢小学校	学校公開
7月13日（土）	富士見幼稚園	夏祭りに卒園児招待
7月24日（水）	富士見保育所	夏祭りに終了児一年生招待
8月2日（金）～3日（土）	富士見幼稚園	一年生宿泊会
8月24日（土）	ポラリスこども園	夏祭りに卒園児招待
9月21日（土）	各小学校	運動会に入学予定児招待
9月28日（土）	ポケット幼稚園	運動会に卒園児招待
〃	富士見保育所	運動会に終了児一年生招待
10月5日（土）	富士見幼稚園	運動会に卒園児招待
〃	ポラリスこども園	運動会に卒園児招待
10月 8日（火）	白川小学校	学校公開
10月24日（木）	原小学校	学校公開
〃	原小学校	ポケット幼稚園児施設見学
○10月29日（火）	石井小学校	富士見地区ブロック研修会 （公開授業・情報交換）
10月～11月	各小学校	就学時健康診断
11月 6日（水）	石井小学校	学校公開
11月14日（木）	時沢小学校	学校公開
1月～3月	各小学校	小学校見学，一年生との交流
2月～3月	各小学校	新入学児情報交換連携会議

- 4 令和2年度の代表校園所【 認定こども園富士見幼稚園 】

5 これからの保育・教育に生かしたいこと

- 道徳を通して、よく考えて大切なことを共有する姿勢、自己を振り返ることなど、道徳性や規範意識について、しっかり身に付けさせるようにしたいと思いました。心を育てることで普段の生活にも生かしていけると思います。
また、学校生活全体の中で意識して生活させる教師の投げかけや助言も必要だと感じます。教師自身が常に意識して生活することも大事だと考えます。
- 学習態度、技能など幼児期からの生活で差はでてくるとは思いますが、共通して我慢できる子を育てていくこともこれから大事ではないかと考えます。我慢は、身体的・精神的に苦痛になることではなく、周囲をみて、自分や他人にとって迷惑な行為でないことと考えています。「わがまま」や「人まかせ」が最近多い気がするので、私自身の課題として今後も指導について考えたいと思います。
- 一年生にきまりについて考えさせるためには、表情マークが有効だと感じました。子どもたちが、真面目に取り組んでいる姿が印象的でした。「道徳は心のお勉強」という言葉は、子どもたちにも分かりやすくいい言葉だと思います。「自分は、廊下を走っちゃいけないと分かっているけど、どうして走っちゃうんだろうね。」という先生の問いかけは、子どもに現実的に考えるきっかけになったと思います。こちらとしては、とにかく「考える」ということをしてほしい、そして言葉になればよい、と考えますが、なかなかそこまでいかないのが私の悩むところです。
- 保育園の先生の話より「子どもはやりたいことがあると座ってられる。やりたいことがないと動き出してしまう。」→子どもがやりたいと思える授業や活動を準備したい。
発達障害のある子どもの困り感に気づき、合理的な配慮をする。
箸の使い方、食べ方、鉛筆の持ち方などは、教養として根気よく指導する。
- 道徳的実践力、規範意識を育てるための取り組み。
きまりを子どもは否定的に捉えがち→肯定的に捉えられるよう認め、褒め、励ます。
表情マーク・心情マークの活用→低学年の児童や発達障害のある子どもにも分かり易い。
道徳のワークシート→教科書付属のノートは、低学年には使いづらい。
文字以外での記入の工夫、書かせたいことを自由に書かせられる。
「ぐんま子どものためのルールブック 50」。の使い方。コの字型座席。相互指名。

- ・ 小学校一年生の道徳の授業を見させていただき、入学して半年で発言したり、みんなで考えたりすることができるのだと思いました。今回の授業の仕方を見て、とても良いと思いました。先生を中心にコの字になり全体が見渡せることと、友達が意見を言う「いいと思います」や「付け足します」など言うシステムとても良いと思いました。今回は「きまりについて考えよう」で、その中でも人の気持ちをいくつかの顔で表していてすごく良く真似して生かしたいです。来年、就学する子どもたちを担当していて、話し合いの場を作ったり、きまりやルールを守ることを少しずつ教えていくことの大切さを改めて感じました。話し合うことやきまりを伝えることをこれからも続けて小学校につなげられたらと思います。
- ・ コの字に机を並べた道徳の授業を参観し、「自分の意見を言う」「友達の意見を聞き、共感したり認めたりする」「先生も子どもの思いに共感したり、褒めたり、認めたりする」などの姿を見て、みんなで考え、意見を出しやすい雰囲気の中で授業がなされていると感じた。他の子やみんなの気持ちに着目できるように表情マークを用いていたことなど、説明だけでなく、視覚的に伝えることで、より分かりやすく子どもたちに投げかけていることもわかり、これからの保育にとっても参考になった。
- ・ 情報交換の場で、鉛筆や箸の持ち方、文字を書くこと、発達障害について話が出て、小学校の先生方の思いが分かり、保育所や幼稚園でもできる限りのことを行い、小学校へとつなげていくことが大切であると感じた。今後も、この保幼小の関わりを継続し、小学校との連携が子ども達にとってスムーズにいくよう、学んでいきたいと思う。

